

令和8年度広島県DX推進モデル事例創出プログラム実施業務
提案書評価基準

項目	評価のポイント	係数	評価値
1 実施方針	○ 業務実施に当たっての基本的な考え方や、実施する上でのポイント等が的確に押さえられており、本業務の内容・趣旨を理解した上で実施する意欲があるか。	1	4
2 業務内容			
(1) 企画	○ プログラムの実施期間及び成果目標に対して、プログラムの企画内容は適切であるか。また、目標水準の達成に向けた道筋やその理由は妥当であるか。	4	16
	○ プログラムにおける一連の取組を通じて、参加企業が主体的に取り組み、モチベーションを維持向上させる工夫があるか。		
	○ プログラム終了後も参加企業がDX先進企業を目指して継続的・自立的にDXを推進できる内容となっているか。		
(2) 参加企業の確保	○ 参加企業の獲得に向けた広報計画は適切であり、獲得目標の達成が期待できるか。	2	8
(3) 広報チラシの作成	○ 広報チラシの案が複数提案されており、集客が期待できるデザインや内容となっているか。	1	4
(4) 参加企業へのヒアリング・アセスメント	○ モデル事例となりうるプログラム参加企業を適切に評価・選出することが期待ができるか。	1	4
(5) 伴走支援対応	○ 支援内容は、継続的・自立的にDXを推進できるモデル事例の創出につながることを期待できるか。	5	20
	○ 本業務を行う上で、有益な実績や経歴、資格を有したコンサルタントを十分に配置しているか。		
	○ 過去の実績が異なる業種で3つ以上挙げられており、こうした実績等を踏まえて、業種が異なる参加企業の幅広い課題に対して、適切に指導・助言することが期待できるか。		
(6) DX相談会の運営	○ 本業務を実施するに当たっての運営体制は適切であり、有益な実績や経歴、資格を有したコンサルタントを十分に配置しているか。	5	20
	○ 実施方針や工夫は、参加企業の課題解決及びDX推進のモチベーション向上が期待できるか。		
	○ 適切な管理手法やフォローアップ方法により、目標の基準を確実に達成することが期待できるか。		
(7) 成果検証・実施報告書の作成	○ 目標水準を達成するために適切な管理手法や検証方法を用いて、事業目的を達成することが期待できるか。	2	8
(8) プログラム成果の波及	○ 企画や実施内容等は、他の県内中小企業のDX実践につながる魅力的な提案になっているか。	4	16
	○ 企画や実施内容等は大きな波及効果が期待できるか。		
(9) その他自由提案(※)	○ 仕様書に記載されたこと以外に効果的な提案をしているか。	1	4
3 スケジュール	○ 実現可能なスケジュールとなっているか。	1	4
4 実施体制	○ 本業務全体の管理を実施するに当たって十分な体制となっているか。	1	4
5 経費	○ 経費の内訳は業務内容に見合った額となっているか。	1	4
6 優位性	○ 本業務を実施するに当たっての提案者の優位性はあるか。	1	4
評価値合計(120点満点)			120

※「その他自由提案」については、提案自体が無かった場合の採点基準点を「0」とする。

評価表

評価値	4	3	2	1	0
評価	非常に優れている	優れている	普通	劣っている	非常に劣っている

※各審査員の評価値の合計点数が満点(120点×委員数)の6割に満たない提案については候補者としません。